

第4期：平成29年度事業計画

(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

一般社団法人日本寝具寝装品協会

■本協会は、定款にある寝具寝装品産業の振興と啓発普及活動を継続的に行い、寝具寝装品の健全なる発展と共に、国民生活の向上に寄与する事を目的とする、次の事業を行う。

1、寝具寝装品の啓発普及に関する事業

(組織強化委員会、需要創出・啓発委員会、人材育成委員会、睡眠環境・寝具指導士認定委員会)

(1) 組織強化／会員拡大策

＊業界品質基準と表記策定、J∞QUALITY事業、「睡眠環境・寝具指導士®」資格制度等から、団体又は個別法人企業への参加の呼び込み

日本毛布工業組合、ウレタンフォーム工業会、全日本ベッド工業会、日本タオル工業組合連合会等に加盟の個別企業。 公的検査機関、まくら企業他

・新規加盟申請書受託企業

正会員：イング(株)、東京リビング(株)、まくら(株)、丸和(株)、蝶理(株)

賛助会員：シキボウ(株)、日鉄住金物産(株)

・新規加盟候補先企業

東レ、クラボウ、旭化成、日清紡、ユニチカ、KB ツツキ、第一紡績他

(2) RFID技術導入に向けた検討会の実施

・需要創出・啓発委員会での説明4月18日実施(東レ)

平成30年度に所轄官庁助成金事業申請し、来期9月実証実験開始し、平成31年導入検討。

(3) 日本の寝具寝装品の海外展開(J∞QUALITY)

・経産省商務情報政策局クールジャパン海外戦略室との構想立案

(4) 健康寿命の延伸の為、関係機関との情報交換、及び啓発運動への参加

・健康日本21推進全国連絡協議会(151団体)とコラボレーション

(公財)日本看護協会(保健師)、(一社)日本生活習慣病予防協会等

(5) 「すいみんの日：3/18 & 9/3」を「睡眠と健康月間」として

- ・(公財)精神・神経科学振興財団/睡眠健康推進機構:全国出張睡眠公開講座 27 ヲ所、及び全国学校訪問型睡眠講座 40 校で 地域の睡環・寝指導士資格者が支援し啓発活動の実践

* J B A ホームページ/官公庁情報欄掲載

(6) 日本睡眠環境学会への後援事業 「眠りと健康 早稲田大学公開市民講座：9月15日」

(7) 中小企業庁 中小企業等経営強化法/設備投資優遇税制：平成 29 年度寝具類新規付加

- ・JBA が寝具類の税制優遇措置申請に伴う生産性 1 % 向上認可審査の指定団体となる

*別表資料⑤

2、寝具寝装品の品質向上並びに性能評価について調査、研究及び開発に関する事業

(コンプライアンス委員会)

*日本睡眠環境学会寝具等評価実験方法検討委員会、他学究・検査機関等と、「ふとん性能評価表記」に関する調査研究の準備

- ・消費者のふとん購入時に求める表示内容アンケート検討
- ・旧来の試験方法と評価データ収集による各企業内評価レベル表記の調査予定
- ・敷ふとん及びマット、まくらでの性能評価のガイドライン策定をめざす。

3、寝具寝装品の品質表示推進に関する事業

(コンプライアンス委員会)

- (1) 品質表示者管理番号制度 70 社への使用細則遵守と適正管理(試買検査等)の指導
- (2) GF マーク品質基準規定策定に向けた検討会実施
- (3) 家庭用品品質表示法改正事項の JBA ホームページ情報掲載指導

4、寝具寝装品の検査に関する事業

(コンプライアンス委員会)

*品質表示者管理番号表記、又は GF マークラベル添付品が主対象。(羽毛ふとん類は除外)

- ・品質表示及び付帯物の景品表示法遵守指導の為に、試買検品検査 & 訴追警告の実施

上期5月～7月：ネット販売品 下期9月～11月：店頭（GMS,HC,カタログ通販）販売品
製品検査（生地及び詰めもの）、付帯販促物表現（ラベル、カタログ、帯他）

5、寝具寝装業界の振興に関する関連団体との協力事業活動

（需要創出・啓発委員会、睡眠環境・寝具指導士認定委員会、WG各部会）

（1）経産省及びJFIC日本ファッション産業協議会との「J∞QUALITY」寝具活用策

- ・平成29年度認証申請の拡大策
品目（毛布、ケット類、ベビー用品）及び、素材（化学繊維、ウレタンフォーム）付加
- ・平成29年度J∞QUALITY新規認証企業 50社と 新規認証商品 100品番目標
認証企業（認証料10万円）の活性策として、商品品番数拡大を実施
- ・平成29年、国内での百貨店とのタイアップ展開を目指す。
経産省商務情報政策局クールジャパン海外戦略室の支援を基に、平成30年度アジア域内でポップアップ展開を目指す。

（2）日本睡眠環境学会早稲田学術大会 9月14～15日への協賛支援活動

（3）業種別委員会を新設し消費者視点に添った快適寝具の基準作りを（生地部会、まくら部会、マットレス部会、ふとん部会（羽毛含む））を行い、特に敷ふとんに対する基準作りを進め、他各々も平成30年3月迄に基準策定し、4月よりモニタリングを行い、併せてGFマークの使用規定変更を検討する。

6、マークラベル交付に関する事業

（コンプライアンス委員会）

- ・GFマーク発行88社と適正使用をホームページサイトにも掲載告知して遵守徹底
6ヶ月毎の生産状況、ラベル在庫、品質試験書報告に関する指導監督

7、会員及びその組合員に対する指導教育並びに情報の提供

（人材育成委員会、睡眠環境・寝具指導士認定委員会）

(1) 資格認定制度「睡眠環境・寝具指導士®」に関する次の事業を実施する。

①「睡眠環境・寝具指導士®」教育講座及び認定試験の開催（東京、大阪、福岡3会場）

*別紙資料⑥ 東京大阪の応募締切7月5日迄。 福岡応募は締切しました。

②「第1~4期：睡眠環境・寝具指導士®」503名の管理、運営、育成を図る。

・3年更新期資格試験審査を実施する。（更新候補第2期104名）

・睡眠環境・寝具指導士資格の活用ルールと規制検討（WEB、チラシ、DM等）

・スキルUPセミナー 9月15日：早稲田大学、3月：睡眠&寝具編講習 東京/大阪会場

・指導士資格活用の情報公開をホームページ、学会誌等で実施する。

③平成30年版睡眠環境・寝具指導士寝具編テキスト改訂（まくら、ウレタンフォーム等付加）

(2) 監督官公庁、JFIC日本ファッション産業協議会、繊維産業流通構造改革推進協議会、健康日本21推進全国協議会等でのスキルUP研修セミナーの活用。

・人材育成委員会 9月6~7日「紀州/泉州産地とJ∞QUALITYブランド戦略」研修セミナー 参加40名を実施する。

*別紙資料⑦

8、JBA情報の広告宣伝活動

(組織強化委員会)

(1) JBAロゴのリモデル

(2) 業界紙への情報提供と定期的訴求広告掲載

(3) JBAホームページのリニューアル 適時適報発信 <http://www.jba210.jp/>

(4) JBA各会員の情報ネット窓口担当者に 官公庁等のメール情報

(5) JBA会員からのJBAレポート&問合せアドレス設定 jba-report@jba210.jp

以上